

2010年(平成22年)12月  
清風南海高等学校・中学校

## 2010年度(平成22年度)学校評価報告書

本校では以下に示した建学の精神及び教育方針に基づいて「社会から必要とされる学校づくり」「安心・尊敬・信頼の対象となり、信用され得る人物の育成」を目標に日々教育活動を行っております。その教育活動等の成果を検証し改善を行うことにより、生徒がより良い教育活動を享受できるよう学校運営の発展を目指し教育の水準の向上を図るため、教職員・保護者・生徒による三者の学校評価アンケートを実施いたしました。集計結果は別表のとおりです。内容を詳細に分析・検討し、重点目標・具体的取り組みを設定し、目標(Plan)－実行(Do)－評価(Check)－改善(Action) というPDCAサイクルに基づき継続的に伸長・改善に取り組んでまいります。

《建学の精神》徳・健・財、三拍子そろった姿でルールを守り、世の中のために尽くす人間となるために、勤勉努力する理想的な人物を育成する。

《教育方針》勤勉と責任とを重んじ、自立的精神を養うと共に、明朗にして誠実、常に希望の中に幸福を見出し、社会の全てから「安心」と「尊敬」と「信頼」の対象となり、信用され得る人物を育成するため、仏教を中心とした宗教による教育を実施する。

《清風南海魂》これらの精神を実現させるべく、清風南海魂を体得するための努力をする。清風南海魂を体得するために、

第1 正しい判断力を育成し、鋭い断行力を養うこと。

第2 先祖伝来の宗教を中心に敬神崇祖の念を養い、信仰心を確立し、信念と不屈の精神力を身につけること。

第3 常に節制を守り、体力の練磨向上を計り、徹底した精進努力をすること。

第4 礼節を重んじ、父母を大切にし、先祖に感謝し、年長者や先生を尊敬すること。

第5 素行を正しくして、常に正確な予算生活の実行者となること。

第6 常に自利利他・福の神のコースを脱線せぬよう心がけ、急がず、息<sup>いそ</sup>まずの心<sup>こゝろ</sup>構えて勤勉努力を続けること。

### 「質問項目及び評価基準」

1. アンケートの実施に当たっては、教職員・保護者・生徒とも匿名性の担保に配慮し無記名とした。
2. 質問内容は、教職員・保護者・生徒による三者の評価を比較するため、同一内容とした。また、学校全体の状況を把握するため、個人のことではなく学校全体の状況を問う形にした。

3. 質問項目は、「学校全体にかかわること」「授業にかかわること」「進路にかかわること」「生徒指導にかかわること」「特別活動にかかわること」「教育相談にかかわること」「環境美化・設備にかかわること、その他」の順に内容的にまとめて配列した。
4. 評価基準は、①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない の4段階とした。また、⑤判断できない(よく分からない)を設定し無記入の回答を避け、次の質問項目設定の参考とすることとした。
5. 評価レベルとしては、評価基準の①②を肯定評価、③④を否定評価として課題の整理をした。肯定評価が60%以上の項目については、その評価を落とすことなく継続してさらに取組を強めていく。60%未満の項目については、その内容を分析し改善・改革に向けての検討課題とする。

#### 「評価結果の分析及び課題」

※ %は下1桁四捨五入、合計で100%にならないものもある。

#### 【アンケート全般について】

- ・全質問25項目の評価基準による平均は、①よくあてはまる ②ややあてはまる ③あまりあてはまらない ④全くあてはまらない ⑤判断できない(よく分からない)の順に、  
教職員①20%②50%③23%④4%⑤4% 保護者①28%②43%③15%④4%⑤10%  
生徒①20%②34%③21%④11%⑤14%
- ・全質問25項目の肯定評価・否定評価による平均は、①+②肯定評価－③+④否定評価－⑤判断できない(よく分からない)の順に、  
教職員70%－26%－4% 保護者71%－19%－10% 生徒54%－33%－14%  
教職員70%と保護者71%はかなりの高評価。生徒54%は②と③に評価が概ね集まっているため平均値としては50%をやや上回る程度という結果となった。
- ・全質問25項目のうち肯定評価が60%以上の項目数は、  
教職員20項目(80%) 保護者21項目(84%) 生徒7項目(28%)  
教職員80%と保護者84%は非常に高評価。生徒28%は②と③に評価が概ね集まっているため肯定評価60%以上の項目数は7項目と少ない結果となった。
- ・全質問25項目のうち肯定評価が否定評価を上回る項目数は、  
教職員24項目(96%) 保護者25項目(100%) 生徒20項目(80%)  
教職員は24項目において肯定評価が否定評価を上回った。  
保護者は質問事項25項目すべてにおいて肯定評価が否定評価を上回った。  
生徒は肯定評価が否定評価を下回る項目が5項目あり慎重に分析する。

#### 【学校全体にかかわること：質問項目1-3】

1. 「本校の教育は全般的に満足できる」  
教職員・保護者・生徒とも高評価。特に保護者は肯定評価84%と非常に高い評価。生徒が

さらに一層よい教育活動を享受できるよう教育水準の向上に努めるとともに、学校の活性化や信頼される魅力ある学校づくりを進める。

2. 「本校は建学の精神・教育方針を日々の教育に生かしている」

保護者は肯定評価 82%と本校の教育活動に非常に好意的。生徒の評価が今ひとつなのは、質問の内容が抽象的なことがその理由か。教職員は建学の精神・教育方針を常に意識し、生徒に日ごろから折に触れ周知徹底していく。

3. 「本校は学力向上をめざして積極的に取り組んでいる」

三者とも非常に高評価（教職員 92%、保護者 82%、生徒 74%）。進学校として 100%の評価を目指して組織的・効果的に取組を進めていく。

【授業にかかわること：質問項目 4-9】

4. 「本校の多くの授業は内容が充実しており、また理解できるように工夫されている」

三者とも肯定評価が 65%以上とかなりの高評価。今後さらに、《全校生徒による全教科目授業アンケート》も参考資料として指導内容や指導方法について工夫する。《教職員個人のチャレンジプラン(自己目標)》にも活かしていく。《教員間授業見学週間》《教職員研修会》の一層の充実を図り個々のスキルアップを目指す。

5. 「本校の先生は教科の質問にきちんと対応している」

三者とも非常に高評価（教職員 97%、保護者 75%、生徒 82%）。継続してさらなる伸長・改善に取り組む。

6. 「本校では学習や進路に関する生徒個人面談が十分に実施されている」

三者とも肯定評価が概ね 60%以上。面談の効果というものとは短時間で簡単に表れるものではないが、生徒の適性を発見し能力を引き出し、それを発揮できるようにするための工夫を試みながら、生徒の人格的発達のための指導に継続して取り組んでいく。

7. 「本校生は各自の目標をめざして学習に意欲的に取り組んでいる」

三者とも肯定評価が概ね 60%以上。目標を定め、その目標への熱い気持ちが学習パワーの源泉となり、学習に意欲的に取り組むことになる。生徒の意識改革やモチベーションの維持にむけて一層の創意工夫に努める。

8. 「本校が早朝・放課後や休暇中に行っている補習授業等は生徒の学力向上に役立っている」

三者とも肯定評価が概ね 60%以上だが、教職員の熱意・苦勞が今ひとつ報われていないようだ。生徒の実態を踏まえた、個別指導やグループ別指導、習熟度に応じた指導、生徒の興味・関心等に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などの個に応じた指導の方法・計画等のさらなる効果的な取組を進める。

9. 「本校の各学年の校内実力テスト・業者テストは適切に計画・実施されている」

三者とも肯定評価が 60%以上。特に保護者は肯定評価が 86%と非常に高い評価。大学進学校として、継続してさらに充実を図っていく。

【進路にかかわること：質問項目 10-12】

10. 「本校の各学年の進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立つように行われている」

教職員の評価と生徒の評価に開きがある。生徒は、“各学年の進路指導”を“大学入試”と直線的に捉えて、高2～中学生はかなり先の問題と考えたのかもしれない。難関国立大学志望者のそれぞれの目標達成に向けて志望校別等の一層の適切な指導を目指す。また、大きな目標へのスタートが早ければそれだけ学習への意気込みも強くなると思われるので、各学年に応じた適宜・適切な指導に取り組む。さらに、各学年において、生徒の発達段階や能力・適正等の理解に必要な個人的資料や、進路情報についての収集・活用に一層の充実を図っていく。

11. 「本校の保護者面談週間の面談内容・面談形式・日程等は適切である」

教職員・保護者・生徒とも肯定評価が60%以上であった。特に、保護者は85%と非常に高い評価。学校に関する様々な情報の適切な伝達・公開に努めるとともに、個別面談、三者面談等において組織的・効果的な取組に向けてさらに改善を進める。

12. 「本校の保護者対象授業参観週間の参観要領・授業内容・日程等は適切である」

教職員・保護者・生徒とも肯定評価が60%前後であった。保護者には概ね好評のようだ。保護者の参画をさらに促進し、共通理解と連携協力の推進を通じて、学校・家庭それぞれの教育力が高められていくことが期待できる。組織的に伸長・改善に取り組む。

【生徒指導にかかわること：質問項目13-14】

13. 「本校生は校則やきまりをおおむね守っている」

教職員68%・保護者81%は高評価だが、生徒は肯定・否定が拮抗している。生徒のなかには教職員・保護者の目の届かないところで違反しているものが存在しているようだ。服装・整髪など目に見えるものだけでなく、ルールブックにないルール、社会の常識としてのルール等、規範意識の向上に生徒各人の自覚を促していく。

14. 「本校では日頃から基本的生活習慣や社会のルール・日常生活のマナーについての指導が行われている」

三者とも非常に高評価（教職員83%、保護者84%、生徒77%）。教職員・保護者・生徒が一体的に取り組んでいる成果が評価に表れている。生徒が自ら考え、自主的・自律的に行動でき、自らの言動に責任を負うことができるような指導を心掛ける。

【特別活動にかかわること：質問項目15-17】

15. 「本校では校外学習・文化系行事・体育系行事などの学校行事が充実している」

教職員・保護者の評価は60%前後だが、生徒の評価が低い。行事の目標等の達成に向けた意識を共有することにより、相互理解を深める。また、生徒の意見や要望を把握し、生徒の興味・関心を生かした自主的・自発的な行事に向けて、知恵を出し合って改善していく。

16. 「本校の学校行事は、保護者が参加しやすいように日程等が配慮されている」

保護者は肯定評価が70%近いが、さらに一層行事等に参加していただくための工夫をしていく。

17. 「本校の部活動は、学習と両立しており、学校生活を充実させるためのものになってい

る」

保護者は肯定評価が70%で“部活動と学習の両立”に概ね安心しているように思える。本校では学習優先の中でのクラブ活動としているが、無理のないバランスのとれた形で両立できるようさらに検討する。

**【教育相談にかかわること：質問項目 18-19】**

18. 「本校の人権学習は効果的に行われている」

三者とも肯定評価が50%前後。人権学習を生徒の日常生活に即活かすのは容易ではないが、《人権教育アンケート》《人権に関する職員研修》等を効果的に活かし、日常生活に根付いたものとなるように指導をさらに工夫・改善する。

19. 「本校生は悩み事や困ったことについて、先生に気楽に相談している」

保護者・生徒の評価が教職員に比べて少し低い。よき相談相手として気楽に相談できる対象としての教職員を目指して常日頃から自らを改革し、信頼される教師像へと努力する。

**【環境美化・設備にかかわること、その他：質問項目 20-25】**

20. 「本校生は清掃活動やごみの分別など、環境美化に取り組んでいる」

三者とも肯定評価が60%前後。生徒のなかには環境美化に対する意識が今ひとつ積極的でないものも見受けられる。《毎月1回の大掃除》、《年2回のコミュニティ・サービス》を意識付けの特別日とし、生徒一人ひとりが“環境美化に関して自分に何ができるか”を考える日とする。

21. 「本校の施設・設備はよく整備されている」

保護者の評価に比べ教職員・生徒は今ひとつ満足していない。学習・生活環境のさらなる充実に向けて、施設・設備の整備と効果的な活用に取り組む。また、《生徒避難訓練》、《教職員救急蘇生法・AED(自動体外式除細動器)研修会》等を一層充実したものにするとともに、教職員・生徒の安全対応能力の向上を図る。

22. 「本校では健康管理が行き届き、安全な学校生活が送れるような配慮がなされている」

三者とも概ね高評価。日常の健康観察や、疾病予防、生徒の自己健康管理能力向上のための取組をさらに推進する。

23. 「本校は保護者から学校へ気軽に相談できる雰囲気がある」

教職員・保護者は肯定評価が60%以上。生徒には直接的には関心の薄い項目だったと思われる。継続して、保護者の意見や要望の把握・対応に取り組み、より良い信頼関係の構築に努める。

24. 「本校では保護者への連絡や情報公開は適切に行われている」

教職員・保護者は肯定評価が70%前後。生徒には直接的には関心の薄い項目だったと思われる。学校に関する様々な情報の伝達・公開を適切に行い、より広く周知するための工夫に努める。

25. 「本校への電話や訪問の際に学校はていねいに対応している」

教職員・保護者は各々90%、88%と非常に高評価。生徒には直接的には関心の薄い項目だ

ったと思われる。継続してさらに伸長・改善に取り組む。

「評価結果の設置者への報告と公表」

学校評価結果は、設置者に報告し、本校ホームページに掲載し公表した。

以上





2010(平成22)年度 学校生活評価(生徒対象) アンケート

2010年12月  
清風南海中学校・高等学校  
校長 平岡 正巳

本校では建学の精神・教育方針に基づいて「社会から必要とされる学校づくり」「安心・尊敬・信頼の対象となり、信用され得る人物の育成」を目標に日々教育活動を行っています。この調査は、生徒の皆さんの学校生活をより充実したものにし、学校をさらによくしていくための資料を得るために実施するものです。あとの質問について、生徒の皆さんが平素どのように感じているか、率直に回答してください。ご協力をお願いします。

回答は各質問項目に対して、次の基準で①～④の数字を選び、マークカードの該当の数字を黒鉛筆でマーク(塗りつぶす)してください。どうしても判断できない(よく分からない)場合は⑤をマークしてもかまいません。

- ①よくあてはまる                      ②ややあてはまる  
③あまりあてはまらない              ④全くあてはまらない  
⑤判断できない(よく分からない)

番号	質問項目	■①	■②	■③	■④	■⑤	%
1	わたしにとって本校での学園生活は全般的に満足できる。	24	43	20	7	5	
2	本校は建学の精神・教育方針を日々の活動に生かしている。	12	35	29	9	16	
3	本校は学力向上をめざして積極的に取り組んでいる。	30	44	16	4	6	
4	本校の多くの授業は内容が充実しており、また理解できるように工夫されている。	19	48	22	5	5	
5	本校の先生は教科の質問にきちんと対応してくれている。	43	40	9	2	6	
6	本校では学習や進路に関する生徒個人面談が十分に実施されている。	24	35	22	5	15	
7	本校生は各自の目標をめざして学習に意欲的に取り組んでいる。	15	42	26	6	10	
8	本校が早朝・放課後や休暇中に行っている補習授業等は生徒の学力向上に役立っている。	23	36	18	9	15	
9	本校の各学年の校内実力テスト・業者テストは適切に計画・実施されている。	31	35	19	8	7	
10	本校の各学年の進路指導は生徒一人ひとりの目標達成に役立つように行われている。	14	31	23	8	25	
11	本校の保護者面談週間の面談内容・面談形式・日程等は適切である。	27	35	12	4	21	
12	本校の保護者対象授業参観週間の参観要領・授業内容・日程等は適切である。	22	33	16	5	25	
13	本校生は校則やきまりをおおむね守っている。	16	34	28	15	7	
14	本校では日頃から基本的な生活習慣や社会のルール・日常生活のマナーについての指導が行われている。	38	39	14	6	4	
15	本校では校外学習・文化系行事・体育系行事などの学校行事が充実している。	11	17	26	42	4	
16	本校の学校行事は、生徒や保護者が参加しやすいように日程等が配慮されている。	9	24	29	21	17	
17	本校の部活動は、学習と両立しており、学校生活を充実させるためのものになっている。	22	33	18	13	14	
18	本校の人権学習は効果的に行われている。	12	31	27	15	15	
19	本校生は悩み事や困ったことについて、先生に気楽に相談することができる。	11	25	29	20	15	
20	本校生は清掃活動やゴミの分別など、環境美化に取り組んでいる。	15	36	29	11	9	
21	本校の施設・設備はよく整備されている。	13	32	28	22	5	
22	本校では健康管理が行き届き、安全な学校生活が送れるような配慮がなされている。	18	41	22	9	10	
23	本校は保護者から学校へ気軽に相談できる雰囲気がある。	9	24	25	13	29	
24	本校では保護者への連絡や情報公開は適切に行われている。	16	28	18	10	28	
25	本校への電話や訪問の際に学校はていねいに対応している。	22	26	13	7	32	